



研究者名※	尾崎 啓子 OZAKI Keiko	学位※	博士(医学)
所属※	家政学部通信教育課程 児童学科	職名※	特任教授
連絡先	ozakik@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※			
研究分野※	臨床心理学、特別支援教育		
研究キーワード※	カウンセリング、発達障害、フィンランドの特別教育、学校における多職種連携		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<p>「リスク予防と自立支援を基盤とした子育て主体者の成長モデルの構築」(科学研究費・基盤C・共同研究者、2016～2018年)</p> <p>「子どもの育ち、子育てを支援する学校・施設の木質化とその評価」(科学研究費・基盤C・共同研究者、2014～2017年)</p> <p>「地域コミュニティを基盤にした子育てにおけるピア・サポートプログラムの開発」(科学研究費・基盤C・共同研究者、2014～2016年)</p> <p>「学校環境における自然素材活用が特別な教育ニーズをもつ子どもの学校適応に与える影響」(科学研究費・基盤C・研究代表者、2013～2017年)</p> <p>「学びと暮らしの環境における木質利用と子どもの育ちに関する基礎研究」(科学研究費・基盤C・共同研究者、2011～2013年)</p>		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいたま市発達障害者支援体制整備検討委員会委員長(2008～2014)</li> <li>・埼玉県就学児就学支援委員会委員長(2009～2013)</li> <li>・さいたま市発達障害者支援連絡協議会会長(2010～2017)</li> <li>・発達障害者雇用支援連絡協議会委員(2012～2015)</li> <li>・精神障害者雇用支援連絡協議会委員(2012～2015)</li> <li>・秩父市立保育所再編検討委員(2012～2015)</li> <li>・埼玉県私立学校助成審議会委員(2014～2017)</li> <li>・全国国立大学附属学校連盟理事(2014～2017)</li> <li>・越谷市発達支援訪問指導員(2018～ )</li> <li>・埼玉県子どもの権利擁護委員会委員(2020～ )</li> </ul> <p>ほか</p>		
受賞歴	日本発達障害支援システム学会2018年度研究大会・研究セミナー 学会賞受賞(高柳真由美との共同研究)(2018)		

研究領域	臨床心理学	(SDGs)
研究テーマ※	公立小・中学校における多職種連携のニーズと推進要因について	

<p>概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)</p>	<p><b>【研究の背景・目的・内容】</b></p> <p>いじめ、不登校、虐待、貧困など、子どもを取り巻く状況や学校が取り組む課題は年々多様化、複雑化しており、2015年の「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について（答申）」（文部科学省中央教育審議会）においては、教師が心理や福祉等の専門職等と連携し子どもへの支援を分担する「チーム学校」構想が打ち出されている。しかし、学校現場では教職員が日々の多忙さに追われており、多職種との連携がよりよく機能するための方法や内容に関する研修機会や議論は少ないのが現状である。</p> <p>尾崎はこれまで、公立小・中学校の教諭と管理職を対象とした質問紙調査とインタビュー調査を通して、学校における多職種連携の現状とニーズ及び課題に関する考察を進めてきた。その結果、多職種の専門家と教員との連携が効果的に行われるための推進要因と阻害する要因に、連携の成功体験の有無が関連していることを見出した。また管理職のリーダーシップと連携に関するマネジメントも重要な要素であった。</p> <p>そこで今後は、教育現場での活動経験が豊かで連携の成功体験もあると思われる心理と福祉の専門家、また管理職の教員を対象として、主に連携がうまくいった事例を収集し、多職種連携がより機能できるための要因を探ることを目的としてさらに研究を進める。</p> <p><b>【応用例、研究の展望】</b></p> <p>多職種連携の成功事例を収集して、連携を成功させるために必要な要因を探索し、学校現場に向けて発信することにより、「チーム学校」体制の構築に役立てることを目指す。また、教職員とそれ以外の専門家が、改めて連携を学び、意欲的に取り組めるよう、研修の在り方や人材育成の課題も視野に入れて調査の分析を行い、多職種連携成功モデルの構築と提案を行う。教員の長時間労働問題の改善にも役立てたい。</p>
<p>本研究関連 特許・論文等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾崎啓子・安原輝彦、共著、「学校における多職種連携とニーズに関する研究—公立小・中学校の管理職を対象とした質問紙調査の結果から—」、『埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』第18号、p.25～32、2020年</li> <li>・尾崎啓子・安原輝彦、共著、「学校における多職種連携とニーズに関する研究(2)—公立小・中学校の教諭と管理職を対象としたインタビュー調査結果の検討—」、『埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要』第19号、p.9～16、2022年(印刷中)</li> </ul>
<p>共同研究・外部機関 との連携への期待</p>	